



ゆかり通信

VOL. 277

令和3年2月

SENSHOJI
2021 YUKARI NEWSLETTER
since 1994

北海道千歳市清水町1-14 鶴賀山 千正寺

TEL:0123-23-2442 FAX:0123-24-9883

ホームページ <http://sensho-ji.net/> フェイスブック @Senshoji

2021年千正寺カレンダー 2月の言葉



手に入るまでを幸福という。
だから昔の方がひとりの幸福と
じっくりと味わえたような気がします。

(大人のタバコマナー講座より)

雪あそび

今から20年以上前、自分がまだ学生だった時の事です。パソコンがものすごく欲しい時期がありました。当時は、パソコンと言えば個人で持っているのは一部の人達くらいでした。今からは想像もできませんが、小さな会社だと導入していないところもたくさんありました。そんな時に現れたのが「ウィンドウズ95パソコン」でした。このパソコンは難しい知識はなくても、簡単にパソコンを操作することができ、しかも「インターネット」と言われる技術で世界とつながる事ができるという画期的なものでした。



「もしパソコンを持っていたらあんな事ができる、こんな事ができる」と想像しただけでワクワクとした気持ちがとまらずパソコンが欲しくて仕方ありませんでした。

しかし、当時のパソコンは今と比べてとても高価で、たまにバイトをする程度の学生生活をおくっていた自分にはとても手が届くものではありません。でも、どうしても諦めが付きません。

それからというもの、バイトを増やし、家ではパソコン関連の雑誌を読み、暇な時は電器屋さんを巡り、たまに友人の家で触らせてもらおうといった行動を繰り返し、1年以上かけてコツコツとお金を貯め、ようやく念願のパソコンを買うことができたのです。

パソコンが家に届いた時の喜びは、筆舌に尽くしがたいほどでした。あれから20年以上経ち、それ以上に高価なモノを買う機会はありませんでしたが、自分の人生で一番手に入れて嬉しかった買い物はあれだったんだなと気付かされます。苦労しようが楽しんで手に入れようがものは同じ。ものとしての価値は何も変わりません。ただ、やはりそれを手に入れるまでの過程における経験や苦労などを同時に手にすることによって、手に入れたものに対する思い入れが強くなると思っています。愛着とでもいったらいいのでしょうか。

皆さんには「本当に欲しいもの」がありますか。心から強く望んでいて、体がうずくほど本当に欲しくてたまらないものです。本当に欲しいものにかぎって、入手に時間や労力がかかります。しかし、苦労があればあるほど、手に入れるのが難しいほど喜びはひとしおです。本当に欲しいものは、なかなか手に入らないほうがいいのかもかもしれませんね。